

「熊野を楽しむ達人の会」第16回例会 記録  
三重・紀南エコツーリズム ガイドから“とっておきの熊野”へのお誘い  
『あなたに見せたい熊野』  
～春の瀨八丁を訪ねる～

●実施日：平成19年4月10日（火）

●参加者：12名



木津呂（三重県熊野市紀和町）を出発し、近畿自然歩道を歩行して、春の瀨八丁へ向かいました。

歩くこと約1時間余りで、瀨八丁に架かる吊り橋（山彦橋）に到着。

対岸の山には山桜も見られ、吊り橋に揺られながら記念撮影をする方もいました。



吊り橋を渡って川原へ。ガイドの中村さんから瀨峡にまつわる昔話を皆さん興味深く聞いていました。

ヤマガラとの出会い



ガイドの山川さん、マムシを発見！

マムシを素早く手づかみで捕まえた山川さんを見て、参加者の皆さんは大変驚いていました。これで通算何匹目なのでしょうか。今回も持ち帰って焼酎付けにするそうです。



ここは、この瀨八丁の両岸の山を周回するコースの中でも、最も眺望が良い場所です。溪谷を挟むように両岸から岩壁と山が迫り、今にも吸い込まれそうな景色が広がっています。

この後、この右岸側の山を歩き、最後にはこの川の向こうから川舟に乗って遊覧することになっています。



ウバメガシの大木。樹齢 300 年以上と言われている大木で、ウバメガシでこの大きさの木はなかなか見ることにはできないそうです。



道中では、ちょうど桜が見ごろでした。

また、ワラビなどの山菜もあり、皆さん春を楽しみながら歩いていました。



旅の最後は、2 グループに分かれ、川舟に乗って春の瀨八丁を遊覧。

途中、瀨八丁の中央付近では、川舟だけがいくことのできる場所に降りて岩の上へ。

写真の川の中央では、もう一方のグループが川舟から瀨八丁を満喫しています。

静かな自然の中に身をゆだねて、春の瀨八丁を感じることのできる旅となりました。

以上